

あぶたん つうしん

121号

阿武隈大堰 現場視察 報告！！

7月22日(月)、阿武隈大堰にMALAWI(マラウイ)共和国の方々が現場視察に訪れました。

マラウイはアフリカ南東部に位置する共和制国家でイギリス連邦の加盟国です。

彼女たちは政府の技術者で、今回は宮城県が企画して小規模かんがい施設の改修等に係わる調査・測量・設計・施工の実践的な研修を通じて、施設改修等の一連の技術を習得するためにはるばる日本までいらっしたそうです。

まずは通訳を介して、阿武隈大堰の目的や管理体制、設備修繕など一通りの説明を受けました。

「時期によって維持する水位が異なるのはなぜなのか?」「サケは海にいるのに、なぜ魚道を通して川をさかのぼるのか?」など、質問が飛び出しました。

また、水量によって水位を調整するためのゲートの開閉パターンがいくつも用意されていることに興味しんしんでした。

次はヘルメットをかぶり、阿武隈大堰の管理橋へ向かいました。管理橋からは巨大なゲートが開閉されるようすが間近に見られます。対岸までの750mを歩いてみて、阿武隈大堰の大きさを実感していました。

彼女たちは魚道について特に興味を抱いたようです。「サケは川で産卵し、海で成長してまたふるさとの川へ戻ってきて産卵をします。魚道はその遡上を妨げないのためにも役立っているのですよ。」という説明を感慨深げに聞いていました。

操作室での説明



モニターを確認



いざ阿武隈大堰へ出発!



笑顔でお疲れ様でした!



ワニさん

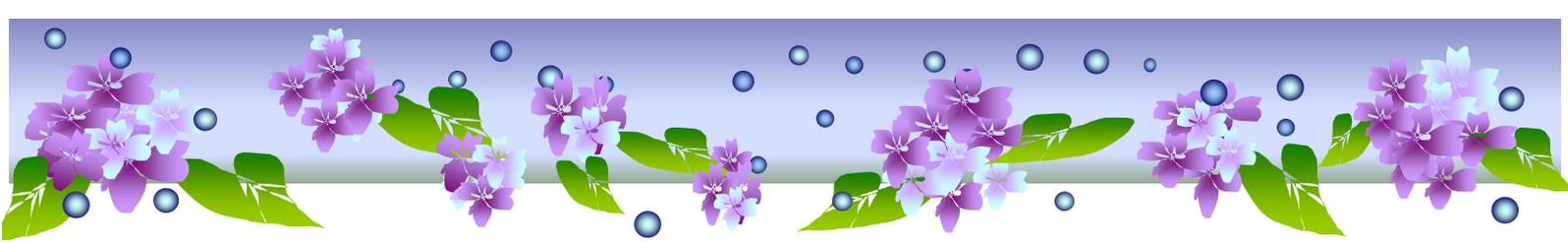
チコレさん

魚道に興味があるみたい



管理橋で護床の説明を聞きます





せん じょう じゅん し
船上巡視 Report !



6月25日、岩沼出張所管内の阿武隈川と白石川で、船上巡視を行いました。

通常船上巡視とは、堤防や河川敷より巡視を行っていますが、陸からは見えづらいところや、川からしか見えないところもあるため、日々の巡視により発見された異状や異状の兆候が見られる箇所を中心に、ゴムボートに乗って近づき、状況を確認していくパトロールです。

今回の巡視で確認された、規模の大きな変状箇所については、緊急度の高い箇所から順番に被害の拡大を防ぐための対策を実施していきます。



また、規模の小さな変状については、引き続き経過観察を行い、河川の安全性確保に努めてまいります。

安全講習会

あんぜんこうしゅうかい **を** **行** **い** **ま** **し** **た**

安全講習会とは、国土交通省発注工事の現場において、発注者側、受注者側それぞれの視点から安全管理状況の確認や危険箇所の抽出を行い、安全に対する意識の向上と工事事務事故防止を目指すものです。近年、震災復興関連などの工事が増え、工事事務事故も増加の傾向にあります。

今回7月3日に総勢43名が参加し、工事現場を見て廻り、チェックポイントを入念に点検しました。

点検終了後には全体討議が行われ、安全管理において工夫している点のほか、改善が必要ではないかなど意見を出し合いました。改善点については速やかに対応して事故防止を図り、安全対策をより一層高めていく意識を共有しました。

普段は当たり前だと思っていたことが事故につながることもあります。それを防ぐために、新しい目線で確認が必要です。

「事故ゼロ」はみんなの願いであり、安全施工に対する意識向上と具体的な改善策は重要な取り組みの一つとなっています。

一日も早い震災復興のためにも無事故での工事の完成を目指していきます。



現場で撮影した写真をチェック!

